

みなさんのご参加を お待ちしております。

市が所有する施設の総合的・計画的な管理を推進するため、平成29年3月に市が策定した『公共施設等総合管理計画』についての説明を聞き、今後の若槻地区の施設のあり方や将来像などについて考えてみませんか？

老朽化した若槻コミュニティセンターの建て替えをはじめとして、公共施設の更新や維持管理についてみんなで考えていきましょう。

公共施設マネジメントについての 「出前講座」

日時 平成29年7月1日(土曜日) 午後2時～3時まで
場所 若槻コミュニティセンター 体育館

説明内容

- 長野市公共施設等総合管理計画〔概要版〕について説明します。
- 若槻地区にある公共施設の位置図、評価分析結果等を提示します。

吉区につづいて
あちこちで始まっています

はっらっ運動講座 (6回シリーズ)

稲田で♪

若槻
東条で♪

稲田区
南原で♪

「いつまでも自分の足で歩けるよう 今から貯めてく 貯筋力!」



意外と手強い！チランズ使用のシグソーパスル（稲田区）



効果的な筋トレで、全身の筋力を高めよう（若槻東条区）

<内容>

- 少し足腰の衰えた方から、お元気な方まで誰でも運動でき、効果がある基礎的な体操を紹介
- 膝・腰痛などの改善、転倒予防にも効果的な筋トレとストレッチ
- 脳を活性化させるゲーム・レクを紹介し、楽しみながら認知症を予防します。

<お問い合わせ先>

(平日 9:00 ~ 17:00)
若槻地区住民自治協議会 事務局
☎295-9550
地域福祉ワーカー 宮澤由枝

若槻自然遺産散歩(ガイドマップ索引番号11)

淡い紅紫の花びらをひるがえして楚々と佇む姿に 春の訪れをじっくりと味わいました

..... 山千寺のカタクリ観賞 4月8日(土)

「もののふの ^{やおとめ}八十娘子らが汲みまがふ
寺井の上の ^{かたかご}堅香子の花」

^{おおもものやかもち}と万葉の歌人・大伴家持が詠んだ歌にピッタリな情景がここ山千寺にあるのをご存知ですか。

若槻自然遺産ガイドマップを全戸配布し、その中で山千寺のカタクリ群生を紹介して以来、開花時期にあわせて「若槻自然遺産散歩」として「山千寺のカタクリ」を観賞する機会を作っています。

今年の冬から春先の気候が影響してか、開花期が遅れ気味だったので心配していましたが、蕾や2分咲きの可憐な花を観賞することができました。

参道入口から登り切った桜の広場からはエムウェーブを中央に長野市北部の街並みと背後の山脈が一望でき、参加者の何人かが「素晴らしい眺め!」と思わず声を上げていました。

広場の左奥に進むと、蕾だけでなく花弁を跳ね上げて開いたカタクリが石碑のまわりを取り囲んでいた。「ここにも、あそこも…」童心に帰ったかのような弾んだ声が飛び

交いました。

山千寺のカタクリは境内と、三登山神社裏から五輪塔群、信玄駒つなぎの桜広場左手の石碑周り、三登山登山道の林道近くなど、4、5か所くらいに分かれて群生しています。

観音堂を包み込む境内の杜と自然の中で、万葉の歌に重ねて観賞することで時空を超えた癒しのひと時を味わって、皆さん感動していただきました。

解説

○歌の意味「大勢の乙女らが水を汲みに集まっているお寺の井戸(泉、清水)の周りにはカタカゴ(カタクリ)の花が今は盛りと咲き誇っている」

○堅香子:「かたかご」と読む。カタクリの事と解釈されている。ここでいう「かご」とはかがり火を入れる鉄製の器。花びらを反り返して咲いたカタクリ姿が「傾いたかご」に例えられたのが由来との説が一般的解釈であるが他の解釈もあります。

○大伴家持:奈良時代、万葉集に最も多くの歌が収められている歌人。編集者の一人。

(自然環境部会)